



『未来をなぞる』上映会

～ カタストロフとイメージを考える～



畠山容平監督『未来をなぞる』(2015年) 国際的に活躍する写真家・畠山直哉が故郷、陸前高田の被災後の風景を撮る姿を追ったドキュメンタリー作品。平成 27 年度文化庁映画賞受賞(上映時間:87分)。

※上映後、クレリア・ゼルニック(フランス国立高等美術学校教授、芸術哲学)、管啓次郎(明治大学教授、詩人、エッセイスト)、塚本昌則(東京大学教授、フランス文学)、野崎敏(東京大学教授、フランス文学)によるディスカッション。 畠山容平監督および畠山直哉の来場も予定。

2016年7月30日(土)15時

東京大学本郷キャンパス法文2号館1大教室

入場無料、予約不要 主催:東京大学文学部フランス文学研究室 (TEL 03-5841-3842)
